



桜山小だより

【学校教育目標】

- ・(知) 夢を持ち楽しく学ぶ子
 - ・(徳) 心豊かに思いやる子
 - ・(体) 健康でたくましい子
- ～ともに夢を育む感動体験を通して～

9月号②

令和7年9月24日発行

校長 ニロ 法子



桜山小学校学校HP

桜山小学校学校HP

桜山小学校学校HP

桜山小学校学校HP

桜山小学校学校HP

桜山小学校学校HP

桜山小学校学校HP

桜山小学校学校HP

桜山小学校学校HP

子どもたちが健やかに成長していく基盤

暦の上ではすでに秋となっています。秋は爽やかで何をするにもふさわしい季節であることから「〇〇の秋」と言われることも多く、スポーツの秋、芸術の秋、食欲の秋などを思い浮かべられることと思います。その中でもさまざまな食べ物が旬を迎える味覚の秋、学校教育でも大切にしている「食育」についてお伝えします。

学校における食育の要「学校給食」ですが、その始まりは明治22年山形県の小学校において、弁当を持参できない子どものために無料で作ったお昼ごはんとしてされています。それ以来、学校給食は各地に広がってきましたが、一時戦争によって中断されました。戦後、食糧難による児童の栄養状態の悪化から再開が求められ、昭和22年に学校給食が再び開始されました。

その後、子供たちの食生活を取り巻く環境が大きく変化し、平成20年に改正された学校給食法では、「健康の保持増進を図る」「健全な食生活を営むことができる判断力を培い、望ましい食習慣を養う」「明るい社交性及び協同の精神を養う」などをはじめとした7つの目標が掲げられ、農林水産省でも食育について「食べ物の選択や食事づくりができる」「日本の食文化を理解し伝えることができる」「感謝の心」「一緒に食べたい人がいる[社会性]」など、6つの「食育で育てたい力」を示しています。

これらの目標からわかるように、子どもたちが健やかに成長していくためには、調和のとれた食事が欠かせません。そして、その基盤となる食育を含め基本的な生活習慣を身に付けさせることが、学校はもとより家庭の果たすべき大きな役割であると考えます。この機会に、子どもたちが大好きな学校給食を話題にして、日頃の食事についてお子さんと振り返ってみてはいかがでしょうか。

給食の献立につきましては、学校ホームページ内に給食センターホームページへのリンクがありますので、必要に応じてご覧ください。

教育課程の変更について

(10月1日より) ※再掲

このことについては年度当初にお伝えしているところですが、これにより児童の下校時刻が変わります。お迎え等の時刻にご配慮ください。



3年生以上 毎週火曜日5時間授業→6時間授業(下校は15時25分)

※ 1, 2年生は2学期いっぱいまでは現行のとおりです。3学期から変更となります。